



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
コード番号 2204 URL <https://www.nakamura.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 裕之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 弘中 雅裕 (TEL) 03-5325-2733
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	26,144	△1.0	85	—	186	—	133	—
2024年3月期第3四半期	26,402	5.2	△216	—	△132	—	△163	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	22.87	—
2024年3月期第3四半期	△27.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	46,644	26,584	57.0
2024年3月期	43,518	26,606	61.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 26,584百万円 2024年3月期 26,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	0.6	900	8.4	1,060	6.5	670	65.4	112.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	5,976,205株	2024年3月期	5,976,205株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	169,754株	2024年3月期	169,286株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	5,806,697株	2024年3月期3Q	5,959,977株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、景気は緩やかな回復基調を維持したものの、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇等により実質賃金が減少し個人消費が低迷するなど、先行きの不透明な状況が続いており、企業を取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社におきましては、「中期経営計画—中村屋2027ビジョン—」のもと、3つの年度指針「総花思考の打開」「部分最適の打開」「前例踏襲の打開」に沿い、目標達成に取り組んできました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は、26,143,908千円 前年同期に対し257,652千円、1.0%の減収となりました。

利益面では、売上高は減収となったものの、効率化の推進を積極的に行ったことで、営業利益は84,640千円 前年同期に対し300,429千円の改善、経常利益は186,454千円 前年同期に対し318,239千円の改善、四半期純利益は132,824千円 前年同期に対し295,446千円の改善となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 菓子事業

菓子類では、銘店向けギフト商品全体のパッケージデザインの見直しを行うと同時に、「月の菓」など主力商品の品質改良や「月のしらべ」「あんバターパイ」の新発売により、カジュアルギフトの品揃え強化を図りました。また、自家用菓子類では「ご褒美喫茶」シリーズの品質・パッケージの改良を行うとともに、有名カフェチェーンとのコラボ商品を発売して品揃えの拡充を図りました。さらに「どら焼類」を中心とした和菓子類の拡販にも努めました。

中華まんじゅう類では、量販店販路向け「肉まん」「あんまん」「ピザまん」などの品質改良を行い、商品力を強化するとともに販売促進施策により拡販を図りました。コンビニエンスストア販路では、「肉まん」「あんまん」「ピザまん」「大入り豚まん」の品質改良と一部商品の価格改定を行い、商品力の強化を図りました。また、「明太もちチーズまん」の発売を行い、品揃えを強化するとともに、12月期に「あんまん」「ピザまん」でキャラクターとのコラボ展開により拡販を行いました。

新宿中村屋ビル地下1階「スイーツ&デリカBonna(ボンナ)」では「本店リニューアル10周年イベント」にて月餅実演販売や抽選会などにより新規お客様のご利用が増えたことで売上増加につながりました。

以上のような営業活動を行った結果、菓子事業全体の売上高は18,067,135千円、前年同期に対し607,609千円、3.3%の減収となったものの、営業利益は1,080,199千円、前年同期に対し92,480千円の増益となりました。

② 食品事業

市販食品では、相次ぐ値上げにより変化する市場動向を見据え、美味しさと簡便さを求める消費者ニーズに合わせ、品質の見直しや主要商品の品揃え強化を行い売上高の確保を目指しました。秋冬向けに「インドカレー」シリーズの「バターチキン」カレー、「麻婆豆腐」シリーズの「極み麻婆豆腐」など主力商品の品揃えを強化し拡販を図りました。また、発売以来好調の「THE濃厚」シリーズの販促を強化し取扱店の拡大、ブランドの育成に努めました。

業務用食品では、回復する飲食需要への積極提案、伸長する中食販路の主力商品拡販を徹底して推進いたしました。その結果、重点販路に位置付けている大手コンビニチェーン向けカレー、ホールセール向け商品が安定的に売上貢献いたしました。また、課題であった不採算商品の絞り込みを集中して行い、事業の効率化を図りました。

新宿中村屋ビル「カジュアルダイニングGranna(グランナ)」「レストラン&カフェManna(マンナ)」では「本店リニューアル10周年イベント」での新商品販売に加え、インバウンド需要の取り組み、賞味会の開催で売上高増加に寄与しました。また、顧客ニーズに合わせた季節商品の販売により多くのお客様に御来店いただきました。

以上のような営業活動を行った結果、食品事業全体の売上高は7,384,880千円、前年同期に対し244,751千円、3.4%の増収となり、営業利益は446,764千円、前年同期に対し55,961千円の増益となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、商業ビル「新宿中村屋ビル」において快適で賑わいのある商業空間の提供に努め、満室

稼働を維持しました。また、武蔵工場敷地の一部を事業用定期借地権設定契約した地代収入に加え、旧東京事業所の再開発に伴う一般定期借地権設定契約による地代収入が寄与しました。

以上のような営業活動を行った結果、売上高は691,893千円、前年同期に対し105,206千円、17.9%の増収となり、営業利益は344,282千円、前年同期に対し88,900千円の増益となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、建物の減少320,315千円、リース資産の減少118,994千円等がありましたが、売掛金の増加2,018,700千円、商品及び製品の増加471,691千円、原材料及び貯蔵品の増加428,207千円等により、前事業年度末に比べ3,126,745千円増加し、46,644,274千円となりました。

負債は、賞与引当金の減少572,078千円、退職給付引当金の減少551,782千円等がありましたが、長期前受収益の増加3,236,077千円、買掛金の増加684,083千円等により、前事業年度末に比べ3,148,470千円増加し、20,060,281千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加195,385千円等がありましたが、剰余金の配当348,415千円等による利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ21,725千円減少し、26,583,993千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、162,143千円増加し、1,298,657千円となりました。

区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,214,293千円の収入となりました。これは主に、売上債権の増加額△2,018,700千円等があったものの、長期前受収益の増加額3,236,077千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、738,786千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出△601,017千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、313,378千円の支出となりました。これは主に、短期借入金の増加額100,000千円等があったものの、配当金の支払額△346,617千円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予測につきましては、2024年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,678	1,299,874
売掛金	4,995,793	7,014,493
商品及び製品	1,463,588	1,935,280
仕掛品	66,240	44,323
原材料及び貯蔵品	2,370,403	2,798,610
その他	500,630	661,877
流動資産合計	10,535,334	13,754,456
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,793,859	7,473,544
構築物(純額)	690,752	652,462
機械及び装置(純額)	2,313,197	2,214,916
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	225,293	200,191
土地	13,072,558	13,072,558
リース資産(純額)	1,121,706	1,002,711
建設仮勘定	5,714	146,394
有形固定資産合計	25,223,078	24,762,777
無形固定資産		
その他	185,574	255,362
無形固定資産合計	185,574	255,362
投資その他の資産		
投資有価証券	6,426,008	6,718,729
関係会社株式	536,056	536,056
その他	613,109	618,524
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	7,573,542	7,871,678
固定資産合計	32,982,194	32,889,817
資産合計	43,517,528	46,644,274

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,351,447	2,035,530
短期借入金	2,500,000	2,600,000
リース債務	82,163	87,904
未払金	1,468,064	1,917,485
未払費用	524,927	620,809
未払法人税等	300,218	15,044
賞与引当金	849,534	277,456
その他	645,500	510,191
流動負債合計	7,721,853	8,064,419
固定負債		
リース債務	397,438	400,301
繰延税金負債	3,308,393	3,432,293
退職給付引当金	1,310,079	758,297
資産除去債務	257,460	253,743
長期前受収益	3,383,626	6,619,704
受入保証金	532,960	531,524
固定負債合計	9,189,957	11,995,862
負債合計	16,911,811	20,060,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,481,558	6,481,558
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,170,223	8,170,223
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,185,823	3,130,441
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	394,538	234,329
利益剰余金合計	8,785,294	8,569,703
自己株式	△548,484	△550,004
株主資本合計	23,876,434	23,659,324
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,729,284	2,924,669
評価・換算差額等合計	2,729,284	2,924,669
純資産合計	26,605,718	26,583,993
負債純資産合計	43,517,528	46,644,274

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	26,401,560	26,143,908
売上原価	17,321,257	16,873,297
売上総利益	9,080,303	9,270,611
販売費及び一般管理費		
販売費	7,446,400	7,399,366
一般管理費	1,849,692	1,786,605
販売費及び一般管理費合計	9,296,092	9,185,971
営業利益又は営業損失(△)	△215,789	84,640
営業外収益		
受取配当金	87,655	102,124
受取保険金	5,277	13,082
その他	22,993	23,399
営業外収益合計	115,926	138,605
営業外費用		
支払利息	26,574	18,389
支払補償費	—	9,000
控除対象外消費税等	—	7,178
その他	5,348	2,224
営業外費用合計	31,922	36,792
経常利益又は経常損失(△)	△131,786	186,454
特別利益		
固定資産売却益	196	—
特別利益合計	196	—
特別損失		
固定資産売却損	30	—
固定資産除却損	6,446	4,278
減損損失	—	4,426
環境対策費	89,770	—
特別損失合計	96,246	8,704
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△227,836	177,750
法人税、住民税及び事業税	19,784	7,155
法人税等調整額	△84,998	37,770
法人税等合計	△65,214	44,925
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△162,622	132,824

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	177,750
減価償却費	1,111,626
減損損失	4,426
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△572,078
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△551,782
受取利息及び受取配当金	△102,162
支払利息	18,389
為替差損益 (△は益)	12
有形固定資産除却損	4,278
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,018,700
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△877,981
仕入債務の増減額 (△は減少)	684,083
未払金の増減額 (△は減少)	476,840
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△181,931
前受収益の増減額 (△は減少)	43,109
長期前受収益の増減額 (△は減少)	3,236,077
その他	△84,823
小計	1,367,134
利息及び配当金の受取額	167,360
利息の支払額	△18,265
法人税等の支払額	△301,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	948
有形固定資産の取得による支出	△601,017
無形固定資産の取得による支出	△90,885
投資有価証券の取得による支出	△11,206
投融資による支出	△42,309
投融資の回収による収入	17,494
資産除去債務の履行による支出	△11,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△738,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000
リース債務の返済による支出	△65,242
自己株式の増減額 (△は増加)	△1,519
配当金の支払額	△346,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	162,143
現金及び現金同等物の期首残高	1,136,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,298,657

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

業績の季節的変動

当社の売上高は、主力商品の特性から冬季に需要が高く、上半期(4月～9月)と第3四半期を含む下半期(10月～3月)の業績に季節的変動が生じております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	18,674,744	7,140,129	—	25,814,874
顧客との契約から生じる収益	18,674,744	7,140,129	—	25,814,874
その他の収益	—	—	586,687	586,687
外部顧客への売上高	18,674,744	7,140,129	586,687	26,401,560
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	18,674,744	7,140,129	586,687	26,401,560
セグメント利益	987,719	390,803	255,381	1,633,903

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,633,903
全社費用(注)	△1,849,692
四半期損益計算書の営業損失(△)	△215,789

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	18,067,135	7,384,880	—	25,452,016
顧客との契約から生じる収益	18,067,135	7,384,880	—	25,452,016
その他の収益	—	—	691,893	691,893
外部顧客への売上高	18,067,135	7,384,880	691,893	26,143,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,067,135	7,384,880	691,893	26,143,908
セグメント利益	1,080,199	446,764	344,282	1,871,245

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,871,245
全社費用(注)	△1,786,605
四半期損益計算書の営業利益	84,640

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて1,201千円、「食品事業」セグメントにおいて、3,225千円の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において4,426千円であります。